

施設の入館数(混雑状況)の計測・表示AIシステム実証事業

【実施企業名】

株式会社フォーカス（栃木県宇都宮市）
株式会社クレスト（東京都港区）

【実証フィールド】

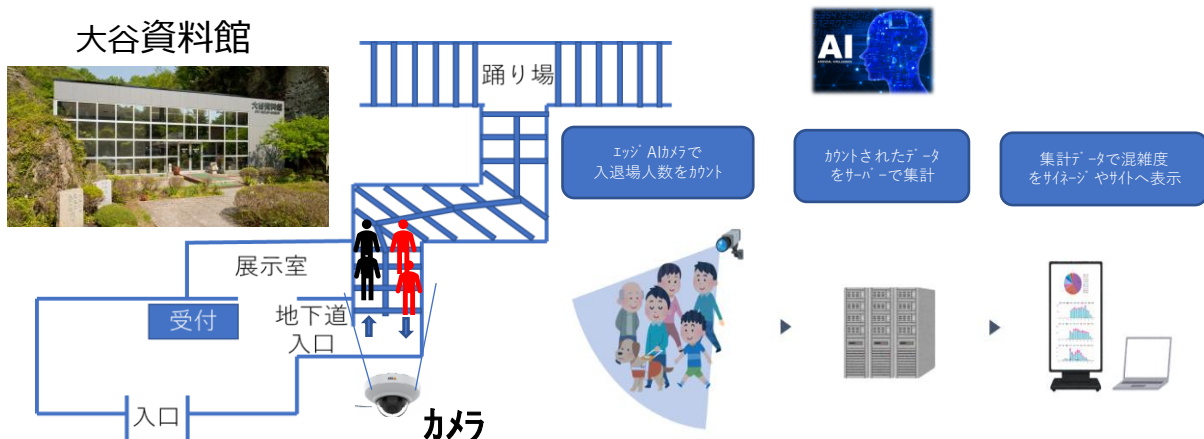
大谷資料館（栃木県宇都宮市）

【開発するシステム】

「施設の入館数(混雑状況)の計測・表示AIシステム」

AIを用いて入退場人数をカウントし、カウントされた人数で混雑状況を表示するシステムのソフト開発

□イメージ図



【実証事業の内容】

- ・人流の変化、機器の使用環境などを踏まえたシステム機能の検証
- ・観光施設の実態にあわせた運用方法の検証

【日程】

- 実施期間 2022/1/28～2022/2/18
- 詳細スケジュール
- 協議 : 12月初旬
- ソフト開発 : 1月初旬～1月末
- 設置、実証開始 : 2月初旬
- 実証完了 : 2月18日

【実証後の展開（社会実装の見込み）】

- ・観光地の多い栃木県において、「with コロナ」の中でも安心して観光に来ていただくためのAIを活用したシステムの企業ニーズは高く、システム完成後には社会実装が見込まれる。
- ・当社AIシステムは、観光施設をはじめとして、工場、店舗などの入場数(混雑状況)を計測・表示することができ、多くの栃木県内企業との連携が見込まれる。